

**事業所名** グループホーム メサの郷  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 看護師  
資格・経験 看護師(40年以上)、介護支援専門員  
B: 現職 介護支援専門員  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、介護老人福祉施設(9年)

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○岡山市の郊外に位置し、交通の便も良く、近くにはスーパー等も多くあり、生活しやすい環境である。

○隣にはデイサービスが併設されており、一緒にイベントを楽しみ、地域の方との交流を図る良い機会ともなっている。

○食には特に留意しており、旬の食材を用いた豊富なメニューで入居者の食欲をそそり、食事が楽しみなものになるように支援している。毎日、食事を美味しく摂れることは、入居者の喜びや楽しみともなり、ホーム生活に潤いをもたらしている。

○近隣に医療機関があり、医療機関との密な連携が図られている。24時間いつでも対応してもらえる事は、入居者、家族共に安心が得られる。

○月に1回運営推進会議を開催し、参加者にホームの機能やイベントを紹介し、ホームや認知症に対する理解を深めている。また、運営推進会議を通して地域の方との交流を深め、良い関係を築いている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特に改善の余地があると思われる点はない。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>○常に、入居者の立場に立って考え、本人がしたい事や出来る事が楽しみながら出来るように取り組んでいる。一人ひとりの希望を尊重したケアの提供を心がけ、入居者一人ひとりが生き甲斐を感じながら穏やかに生活できるよう支援している。</p> <p>○入居者一人ひとりの状態に合わせて、適切な関わりができるよう工夫している。職員のペースで業務を行うのではなく、入居者のペースに合わせて、励ましながら根気強く見守り、入居者の自信や自立に繋がるように支えている。</p> <p>○入居者一人ひとりが自由に自分らしい暮らしを営め、笑顔が常に出るような生活の実現を目指している。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○トイレの手すりや、麻痺のある方が左右どちらからでも入れるための動く浴槽など、高齢者の機能に合わせた設備を整えている。また、共用空間には、円形のソファや本棚、観葉植物等が適度に置かれ、入居者の感覚を触発している。トイレにも、外出の時の写真や花が飾られており、家庭的な雰囲気の中で安らぐ場所作りを行っている。</p> <p>○入居者が孤独を感じないよう、常に見守り、ゆっくりと丁寧に対応している。気持ちが落ち着かない時には、一緒に散歩や買い物に出かけて気分転換を図り、精神的安定を図っている。</p> <p>○入居者の考えている現実を否定せずに受け入れ、入居者の気持ちを大切にされた支援を心がけている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○職員は、入居者の出来る事や楽しみな事が日常生活の中で再現できるよう役割作りを行い、支援している。また、日常の活動を生活リハビリとして取り入れている。</p> <p>○入居者の経験を活かした取り組みや体操、散歩等、入居者の残存能力を活かした活動を通して心身の活性化を図っている。</p> <p>○個人情報の保護や身体拘束廃止のマニュアルを整備し、常に入居者の尊厳やプライバシーに配慮したケアを心がけている。書類は鍵のかかる場所に保管して管理しており、入居者の名前や写真の掲示については、入居者や家族の同意を得て掲載する等、徹底を図っている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>○職員研修にも積極的に取り組んでいこうとする姿勢がある。法人内の勉強会を月に2回行い、介護の現場で活かせるように努め、介護サービスの質の向上に励んでいる。</p> <p>○事故報告書があり、些細な事についても原因や対策を検討し、再発防止に向けて共通認識を深めている。</p> <p>○運営推進会議を通して地域との関わりを深めている。そこで出された意見や提案を取り入れ、ケアの向上や改善に努めている。</p>		